

令和元年度コーディネーター人材育成事業（旧 コーディネータ研鑽会）

「コーディネーター人材のためのスキルアップセミナー」

－ デザイン視点のコーディネーション －

従来の事業モデルや知識、成功体験が通用しにくい不確実性の時代に対峙し、継続可能な経済成長、生産活動を続けていくには、従来の常識を打ち破るようなイノベーションによる新たな価値創造や市場創造、顧客創造により、従来のライフスタイルを変えるような商品やサービスを開発することが重要です。

そのためには、従来の価値観にとらわれず、新たな価値創造や市場創造、顧客創造を実現できる起業家人材の育成はもちろんのこと、彼らをサポートするコーディネーター人材（コーディネータ）のスキルアップも重要であると考えられます。

令和元年度「コーディネーター人材育成事業」では、新たな価値創造や市場創造、顧客創造のプロセスとして注目されている「デザイン思考(Design thinking)」に着目し、モデレーターの榎勝彦氏（京都工芸繊維大学 教授）を中心に、デザイン思考の考え方やプロセス、アプローチ法について紐解き、事例紹介やワークショップを通して実践的なスキルアップを図ります。

【プログラム】

第1回（理論編とワークショップ）

【日 時】 令和元年9月20日(金) 13:00～17:00

(交流会：17:30～19:00)

【場 所】 京都経済センター 4F 4-B会議室

【内 容】

(1)オーバービュー

- 演 題 共通言語・思考方法としてのデザイン
- 講 師 榎勝彦氏（京都工芸繊維大学 デザイン・建築学系 教授）

(2)特別講演

- 演 題 エフェクチュエーション－市場創造のための思考様式－
- 講 師 吉田満梨氏（立命館大学 経営学部 准教授）

(3)ワークショップ「一緒に考える・見つける」

- テーマ 専門家だけのクローズドな世界をひらく、共創型のアイデア発想
- 狙 い 専門性と立場が異なる人たちが共にアイデアを出しあうためのフラットな議論の場作りを体験
- 講 師 寺井翔茉氏 / 株式会社 ロフトワーク

(4)交流会（ワークショップ意見交換会）

- 参加費：2,000円／人（当日、受付でお支払いください）

第2回（事例紹介とワークショップ）

【日 時】 令和元年10月25日(金) 13:00～17:00

【場 所】 京都経済センター3F 3-H会議室

【内 容】「リブランディング」

- テーマ ブランド化へのイノベーションデザインの極意
- 狙 い 生産者の都合から使い手の満足への気付きによる新たな価値創造
- 講 師 小林新也氏 / 合同会社 シーラカンス食堂

第3回（事例紹介とワークショップ）

【日 時】 令和元年11月20日(水) 13:00～17:00

【場 所】 京都経済センター3F 3-H会議室

【内 容】「リフレーミング」

- テーマ 顧客体験のデザインによるイノベーション発想
－ イノベーションの源泉となる「顧客の生の声」のその先のニーズを捉える視点と手法 －
- 狙 い 既成概念の脱却を目指した顧客ニーズの掘起こし
- 講 師 井登友一氏 / 株式会社 インフォバーン

【オーバービュー概要】

科学技術分野に限らず、今日あらゆる分野で高度な専門性が必要とされる一方、そういった専門家や様々なレベルの生活者による共創が求められています。ロジカルな専門知識を超えた思考アプローチが、その共創の場には必要です。デザインシンキング誕生の背景とその変遷を辿りながら、今後の産業の現場、そして教育の現場における共通言語または思考方法としての「デザイン」のポテンシャルと重要性について概説したいと思います。

【特別講演概要】

新事業や新市場が生み出されるプロセスは、事前の予測や計画どおりに進むことはありません。起業家やイノベーターは、予想外の状況に対処しながら、事業の方向性をピボットし、手持ちの資源を活用しながら、極めて高い不確実性をコントロールしていきます。そうした熟達した起業家の意思決定研究から発見された思考様式は、「エフェクチュエーション」と呼ばれ、誰もが学習可能な5つの原則から構成されています。新しいチャレンジを始める方々やその支援をする方々に、エフェクチュエーションとは何か、を知っていただき、不確実性の中での一歩を踏み出す一助となれることを期待しています。

【ワークショップ概要】

■ 第1回（令和元年9月20日）

限られた専門家だけが思考し答えを提示するトップダウン型の問題解決の時代が終わり、利用者も含めた様々な分野の人たちが集まり取り組む「共創型」の問題解決が必要とされています。共創型の問題解決に欠かせない「一緒に考え、一緒に課題を見つける」というプロセスの実践には、「立場を超えたフラットな関係性作り」と「視覚的に考え共有する」という工夫が必要です。本ワークショップではこの二つのポイントを実際に体験していただきます。

■ 第2回（令和元年10月25日）

これまで、伝統産業や中小企業の変革に関わってきました。身近な道具の真の機能に、使い手の満足やニーズをどうマッチさせればよいのか、無理なく何を伸ばして何を変えれば良いのかについて、考え方だけでなく、グラフィックやプロダクトなどのデザインや販路開拓などの具体的な事例を基に、イノベーションデザインの極意をわかりやすく解説し、時代にマッチした事業の継承や持続性のあり方、身近な道具の付加価値向上のための考え方を伝えたいと思います。

■ 第3回（令和元年11月20日）

社会が豊かになるにつれ、単にニーズを解決するだけでは満足されなくなりつつある生活者と市場に対して、価値ある提案をしていくにはどうすればいいか？「顧客の生の声」のさらに先を探ることで、イノベーションの糸口を見いだすアプローチについて学び、デザイン思考を用いた製品発想のプロセスを体験していただきます。

【対象】 支援機関や大学等のコーディネータ
大学や企業等の事業創出を目指す教員（研究者）や学生、若手クリエイター

【定員】 30名程度／回（先着順 定員になり次第締め切ります）
■セミナーの性格上、**すべて受講することが前提**ですが、やむを得ない理由がある場合は、事務局にご相談ください。

【参加費】 無料（交流会：2,000円/人）

【お申し込み方法】

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、京都産学公連携機構事務局までお申込みください。

メールでのお申込みの場合は、件名を「【申込み】コーディネート人材のためのスキルアップセミナー」とし、本文に、①氏名(ふりがな)、②団体・組織名(ふりがな)、③所属/役職名、④所在地、⑤電話、⑥ファックス、⑦メールアドレス、⑧交流会(9/20)への出欠、⑨セミナーに期待することをご記入のうえ、同事務局 (E-mail : renkei@chiemori.jp)までご送付ください。

【お申し込み締切】

令和元年9月18日(水)

【会場(京都経済センター)案内】

(〒600-8009) 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78

※京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札出ですぐ

※阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結

【お問い合わせ先】

京都産学公連携機構 事務局（一般社団法人 京都知恵産業創造の森）

京都経済センター3階

TEL : 075-353-2302

FAX : 075-353-2304

令和元年度コーディネート人材育成事業（旧 コーディネータ研鑽会）

「コーディネート人材のためのスキルアップセミナー」参加申込書
京都産学公連携機構 事務局 行（FAX番号：075-353-2304）

【留意点】 全てのセミナー（全3回）に参加することが前提ですが、やむを得ない理由がある場合は事務局にご相談ください。

ふりがな		
参加者氏名		
ふりがな		
団体・組織名		
所属/役職名		
所在地	(〒 -)	
TEL () -	FAX () -	
E-mail	@	
交流会 (9/20 2,000円/人) (どちらかに「○」をつけて下さい)	参加	不参加
セミナーに期待すること		

※ お申し込みのうえ、直接会場にお越しください。参加証等は発行いたしません。定員オーバーのため参加不可の場合のみ、ご連絡させていただきます。
※ ご記入いただいた個人情報は、本機構事務局からの各種連絡・情報提供のほか、セミナー参加者の実態調査・分析のために利用させていただきます。